



神戸常盤ボランティアセンターは、神戸常盤大学生・短期大学部生、神戸常盤女子高校生、神戸常盤大学附属ときわ幼稚園児とその保護者、教職員、卒業生等、学園関係者を対象にボランティア活動の推進を図るため、学園のボランティアセンターとして設置されています。

阪神淡路大震災では、本学園の生徒3名も犠牲となり、校舎やグラウンドも大きな被害を受けました。また、地域の皆様の要望を受けて、大学・高校の校舎を避難所として開放し、その際には全国からたくさんのご支援を頂きました。このような経験がもとになり、地元長田区での様々な地域活動へ生徒・学生や教職員が積極的に取り組んでいます。

その一つとして、新長田鉄人広場で行われている阪神・淡路大震災追悼行事「1.17KOBEに灯りをinながた」では、学園としてボランティア活動に参加しています。会場設営から灯りの見守り、行事継続開催のための街頭募金活動等、行事の運営を支える活動を行っています。今年は能登半島地震災害救援のため募金活動も行いました。



学校法人 玉田学園



ボランティアセンターの大きな特徴として、設立準備段階より神戸市長田区社会福祉協議会と協働してセンター設立準備を行い、神戸市長田区の地域福祉推進の一助となるよう、社会福祉協議会、地域団体と連携した活動を行っています。

地域へ出張して行う健康チェックや一人暮らし高齢者の皆様にお配りするカレンダーの作成、地域の子育てサロンでのボランティア、防災紙芝居の披露等、多彩な分野で学生たちが活躍しています。

ボランティアセンターの他にも、神戸常盤大学子育て総合支援施設KIT（きっと）では、地域のボランティアの皆さんとの協働のもと、学生による絵本の読み聞かせやサイエンスカフェの開催等、子どもを対象としたボランティア活動も盛んです。

これらの活動は、学生・生徒・園児の正課内外での教育活動の一環としてだけではなく、「地域とともに」を目指す本学園の地域貢献活動としての役割も果たしています。



学校法人 玉田学園